

平成28年2月定例会 県土都市整備委員会（急施議案）の概要

日 時 平成28年 2月25日（金） 開会 午後 3時 2分  
閉会 午後 3時20分

場 所 第9委員会室

出席委員 沢田力委員長

立石泰広副委員長

飯塚俊彦委員、板橋智之委員、高橋政雄委員、小林哲也委員、小谷野五雄委員、  
田並尚明委員、大嶋和浩委員、安藤友貴委員、金子正江委員、中川浩委員

欠席委員 なし

説明者 浅井義明県土整備部長、小関清一県土整備部副部長、  
西成秀幸県土整備部副部長、松澤潤県土整備政策課長、  
富田真樹建設管理課長、柳田英樹用地課長、中村一之道路政策課長、  
大島利彦道路街路課長、濱川敦道路環境課長、常山修治参事兼河川砂防課長、  
秋山栄一水辺再生課長

永岡敬英収用委員会事務局長

会議に付した事件並びに審査結果

1 議案

議案番号	件 名	結 果
第50号	平成27年度埼玉県一般会計補正予算（第4号） のうち県土整備部関係	原案可決

2 請願

なし

**【付託議案に対する質疑】**

**板橋委員**

- 1 国の補正予算に対応する場合でも昨年は急施議案としていない。今回急施議案とした理由は何か。
- 2 早期に議決しても発注までには一定の期間を要するので、1か月議決を早めても違いはないのではないかと考えられる。また、事業の内容をみると道路改築事業費の国道140号は4億円と規模が大きいいため完成までに相当の日数を要すると思われる。他の路線は、それほどの規模ではないため1年で十分に工事は終わると考えられるがいかがか。

**県土整備政策課長**

- 1 今回の国の補正予算は、自然災害リスクが高い地域における緊急防災対策という目的があり、早期に効果を発揮する必要があるため急施に議決していただくようお願いしている。
- 2 議決が1月早くてもあまり変わらないという指摘については、今回の補正予算には緊急防災対応のほか、経済の下振れリスクに対応する必要もあり、国からも早期執行について例年以上に強い要請を受けている。発注機関である県土整備事務所は、議決いただけることを前提に早期発注に向けた下準備を進めており、議決後は速やかに事務を進め年度内に契約をして早期に執行できるように努めたい。

**道路街路課長**

- 2 道路改築事業費で実施する国道140号皆野秩父バイパスは他の路線と違い地域高規格道路であり、今回の補正予算で唯一バイパス整備が認められている路線である。  
発注に当たってはいくつかの工区に分割して発注する計画であるが、事業が最終段階であるため、できるだけ速やかに発注し早期完成を目指す。

**飯塚委員**

道路関係の補正予算であるが、なぜ山間部の事業個所が多いのか。

**道路街路課長**

国から示された道路改築事業費における補正予算の対象要件が地域高規格道路であるため、西関東連絡道路のみが対象となった。その他の交付金事業については、防災点検結果に基づいた防災危険箇所や過去に崩れた箇所で行う法面对策などであるため、対象となる路線が山間地域に集中した。

**安藤委員**

年度末は、建設関係者は忙しい時期であるが、そうした状況は考慮されているのか。

**県土整備政策課長**

すでに県土整備事務所は発注の下準備を進めており、十分対応が可能と考えている。

## 県土整備部長

補足で申し上げる。建設業者が忙しい時期が3月であり、県が発注する工事も多くが3月を工期末としている。今回の補正予算については、3月上旬に公告が済めば、年度内に契約をして忙しい時期が過ぎた後に工事着手となる。今回の補正予算は、経済の下振れリスクを軽減するという目的もあり、忙しい時期を過ぎた建設事業者に工事が入ることから有効であると考えている。